

愛知県自然環境保全地域

# 海上の森



# 愛知県自然環境保全地域とは

わたしたちが、健康で文化的な生活を享受していくためには、単に物質的な豊かさのみでなく、自然とのかかわりの中で、豊かな精神性を養うことが必要です。自然は、生命をはぐくむ母体であり、単に経済活動のための資源としての役割を果たすのみでなく、それ自体が豊かな人間生活に不可欠な役割をもっています。

このため、自然環境保全施策の基本となる法制度として、国においては、昭和47年に「自然環境保全法」が、愛知県においては、昭和48年に「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」が制定されました。

愛知県自然環境保全地域は、この条例によって指定されるもので、すぐれた天然林や貴重な動植物の自生地などの貴重な自然環境を有する地域を、わたしたちの共通の財産として、将来にわたって保全しようとするものです。

## 海上の森の自然

海上の森は、瀬戸市南東部の赤津川左岸に位置する丘陵地です。

ここは、伝統的な地場産業である窯業のための採薪、採土による荒廃と植林による復旧を繰り返し、現在では人工林や二次林を主体とする里山が形成され、豊かな自然環境を有する地域として多くの人に親しまれています。

この海上の森のうち、自然環境保全地域として指定されている西側一帯は、注目すべき動植物が多く生息生育しており、豊かな生態系が保たれています。

谷部の地下水と貧栄養の土壌を基盤として、森林の中に、湿地や草地といった要素を含めた多様な自然環境が維持されています。谷部に形成されている湿地周辺には、注目すべき植物が生育する特異な環境を形成しています。

県内ではこのような良好な自然環境を有する地域は少なくなっています。

## 海上の森の植物

湿地や谷部周辺には、シデコブシに代表される東海丘陵要素植物群が分布しています。

北部の篠田川流域では樹高の高いサクラバハハンノキが分布し、このようなまとまりのある大きなサクラバハハンノキの分布は県内でも特異的な存在です。

屋戸川・寺山川流域では貧栄養湿地群が存在し、モウセンゴケ、トウカイコモウセンゴケ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサなどの貧栄養湿地植生の遷移の初期段階における代表的な種が分布しています。

これらの貧栄養湿地群は谷部に沿って連続的に分布しており、周辺に分布するシデコブシとともに特異な環境を形成しています。

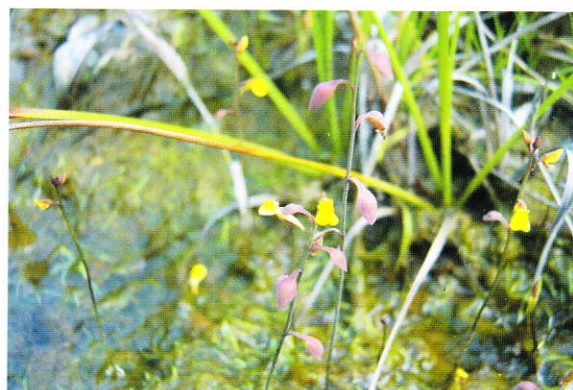
その他、コタチツボスミレを始め、県内では生育地が極めて限定されている植物が生育しており、また、エンシュウムヨウランの群落もみられます。



シデコブシ



サクラバハハンノキの群落



ミミカキグサ

## 海上の森の動物

本地域の野生動物は、低山地から里山にかけての樹林に多く分布する種や本地域の特徴である湿地に生息する種です。

林内及び林縁部では、哺乳類のアズマモグラ、昆虫類では春の女神と称されるギフチョウが見られ、河川やこの地域の特徴といえる湿地では、魚類のホトケドジョウを始め、昆虫類のヒメタイコウチ、ハッチョウトンボ、ナベブタムシなどが生息しています。

また、里山生態系の頂点に位置する猛禽類のオオタカやハチクマなども見られます。



ギフチョウ



ホトケドジョウ

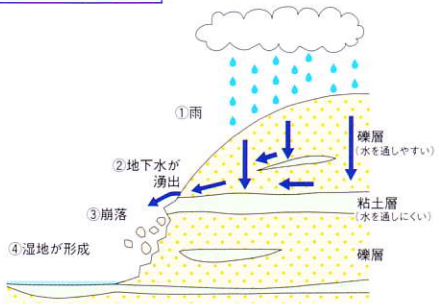


ナベブタムシ

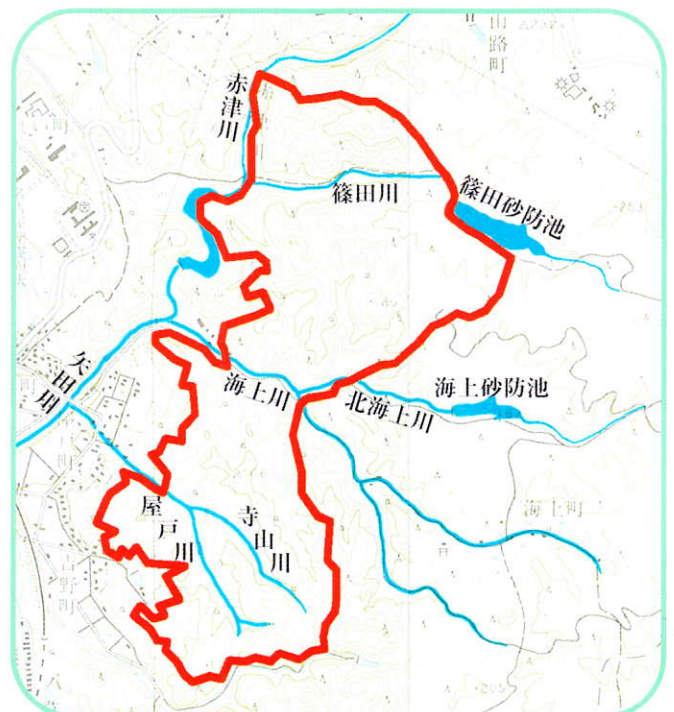
### 湿地について

屋戸川・寺山川流域を中心に点在している貧栄養の湿地は、崖地が崩壊した場所で、礫層から流れ出る貧栄養の水が作り出す特異なものです。規模は小さいですが、都市近郊において連続的に分布している状況は、県内でも珍しく、湿地に依存する動植物の生息生育の場となっています。

#### 湿地(自然崩落型)の形成



### 河川の位置



# かいしょ もり 愛知県海上の森自然環境保全地域の保全計画

(平成18年3月24日指定)

## 指 定 理 由

花崗岩の上に砂礫層が堆積した地質であり、地下水の湧出による貧栄養湿地が多く見られ、シデコブシなど東海丘陵要素植物群と呼ばれる植物を始め希少な動植物が生息生育しています。

したがって、これらの自然環境を保全するため、自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例第20条第1項第4号の植物の自生地、野生動物の生息地として愛知県自然環境保全地域に指定するものです。

## 保 全 計 画

### 1 保全すべき自然環境の特質

本地域は、地形的にせき悪な丘陵地にあり、地質的には花崗岩類の上位に砂礫を主体とする矢田川累層が重なり、谷部に貧栄養の湿地を形成しています。これらの湿地は個々の規模は小さいものですが、谷部に沿って多数分布しており、これらが都市近郊において連続的に分布している状況は、県内でも特異な存在といえます。

植物は、シデコブシに代表される東海丘陵要素植物群が分布し、貧栄養湿地には、モウセンゴケ、トウカイコモウセンゴケ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサが見られます。その他、サクラバハノキ、コタチツボスミレ等が生息しています。

動物は、低山地から里山にかけての樹林に多く分布する種や本地域の特徴である湿地に生息する種であり、哺乳類ではアズマモグラ、魚類ではホトケドジョウ、昆虫類ではギフチョウ、ナベブタムシ、ヒメタイコウチ、ハッチョウトンボが生息しています。

### 2 面積

| 特別地区※<br>(うち野生動物保護地区) | 普通地区    | 合計       |
|-----------------------|---------|----------|
| 48.60ha<br>(10.94ha)  | 79.25ha | 127.85ha |

※北から順に篠田川、四ツ沢北東部、屋戸川・寺山川の3特別地区を指定



所在地 瀬戸市海上町ほか

### 問い合わせ先

愛知県環境部自然環境課  
名古屋市中区三の丸3-1-2  
電話(052)954-6228(ダイヤルイン)

愛知県尾張事務所環境保全課  
名古屋市中区三の丸2-6-1  
電話(052)961-7254(ダイヤルイン)

瀬戸市市民生活部環境課  
瀬戸市追分町64-1  
電話(0561)88-2670(ダイヤルイン)

愛知県リサイクルマーク



再生紙(古紙配合率100%)を使用しています。

